

## 1月27日はオープンスクールでした (NO.3)

6年生は、授業参観で、自分の『座右の銘』を発表しました。一人一人、大変よく考えていました。



### 子どもたちが考えた『座右の銘』

- 七転八起 ●努力 ●失敗は成功のもと ●活気横溢 (かっきおういつ) ●無理ではなく難しいである
- 犬も歩けば棒に当たる ●挨拶はすべての始まり ●雲外蒼天 ●泣いたっていいんだ…! 乗り越えろ!
- 情けは人のためならず ●一念通天 ●失敗は成功のもと ●雨垂れ石を穿つ
- 音楽は決して耳ざわりであってはならない。むしろ耳を満足させ楽しみをあたえなければならない。
- 大丈夫 心配するな なんとかなる ●口に出した途端 言葉は裏切るものだ ●離見の見 ●切磋琢磨
- 不しょう不屈 ●人間の可能性は無限大だ! ●失敗は成功のもと ●失敗と書いて成長と読む
- 勇気は一瞬 後悔は一生 死ぬこと以外はかすり傷 ●努力を上回る才能はない ●努力は裏切らない
- FW とはチームを勝たせるのが仕事 ●一手入魂 ●一投一念 ●人事を尽くして天命を待つ ●自由自在

#### 『ずっとあきらめずに』

私が、座右の銘にしたい言葉は、『失敗と書いて成長と読む』です。これは、野村克也さんの名言です。人間は失敗して、初めて自分の間違いに気づいて、失敗をどう生かすかを考えさせられることばです。私が、この言葉を選んだのは、いつも失敗したらすぐあきらめるくせがあるからです。この言葉から、すぐあきらめるんじゃなくて、失敗をしても失敗から何がダメだったかを考えないといけないと気付かされたからです。野村克也さんの名言『失敗と書いて成長と読む』を、これからは頭に入れて、失敗しても次にどうするかを考えて行動したいです。(H.M)

ぼくの座右の銘は、『一手入魂』です。これは、将棋の大会で優勝した時に、井上九段からもらった直筆サインです。意味は、一手一手に精神を集中させるということです。将棋は何手も先を読まないといけないので、一手入魂という言葉に胸に、これからも頑張っていきたいと思います。(F.H)



能登半島の被災地への募金にご協力いただき  
ありがとうございました



多くの方々にご協力いただき  
ました。

この後の人権・防災講演会でも、能登半島の被災地の状況を講師の石田さんから伝えていただきました。支援とはどうすることかを教えていただきました。

